



すいがい

はあく

ハザードマップ(水害リスクの把握)



じぶん いえ ちか さいがい きけん
自分の家の近くにも災害の危険があるのかな？



「ハザードマップ」といって、災害が起きたときに、どこでどのような被害が発生しそうかわかる地図があるんだよ。
例えば洪水ハザードマップでは、川の水があふれたときに浸かる範囲や深さなどを、マップ上の着色範囲や色の濃さから確認できるよ。



避難場所と避難ルート



ほか わ
他にはなにが分かるの？



近くの避難場所も確認できるから、避難するときのルートを決められるよ！
地域のハザードマップを確認して、家の近くの危険や、実際に避難ルートを歩いた感想などを家族や友達と話してみるといいね！

1 ちず ようい
地図を用意し、
じぶん いえ
自分の家と
ひなん ぼしよ
避難する場所に
しるしをつけよう。

2 みち とお
どの道を通って
ひなん
避難するか、
3つくらいルートを
かんが
考えてみよう。



さんこうしりょう
〈参考資料〉

ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>



洪水のときの避難場所

避難場所は災害の種類によって使える場所が違うよ。

洪水のときは、洪水マークに○がついている避難場所を確認しよう。

どせきりゅう 土石流	くす がけ崩れ・ 地すべり	こうずい 洪水・ 内水氾濫	だいきほかい 大規模火災	たかしなみ 高潮・津波
○	○	○	○	×
きんきゅうひなんぼしよ 緊急避難場所			かいかん ★★★会館	

クイズに チャレンジ！

問題：避難場所と避難ルートの考え方として、間違っているのはどれ？

- A. 一番近くの避難場所に最短ルートで避難するべき。
- B. 災害の種類ごとに避難場所と避難ルートを決めておくべき。
- C. 避難ルートは川の近くや土地が低い箇所などを避けるべき。

こた うらめん
答えは裏面にあるよ





クイズの解答・解説

かいとう
解答

いちばん ちか ひなん ぼしよ さいたん ひなん
A. 一番近くの避難場所に最短ルートで避難するべき。

かいせつ
解説

いちばん ちか ひなん ぼしよ さいたん ひなん あんぜん かぎ ひなん ぼしよ
 一番近くの避難場所に最短ルートで避難することが、安全とは限らないんだ。避難場所は、
 それぞれが対応している災害の種類があって、災害の種類ごとに○×で示しているんだったね。
 ちか ひなん ぼしよ さいがい たいおう かくにん たいせつ まちが ちが
 近くの避難場所がどんな災害に対応しているか確認しておくことが大切だよ。間違えて違う
 ひなん ぼしよ む きけん ぼしよ かのうせい ひなん ぼしよ しゅるい
 避難場所に向かうと危険な場所である可能性もあるからね。避難場所の種類は、ハザードマップ
 ポータルサイトや、建物のそばにある看板等でも確認できるよ。
 ひなん さいたん あんぜん せんたく たいせつ たと
 また、避難ルートは、最短ルートではなく安全なルートを選択することが大切だよ。例えば、
 おおめ かわ みず かわ ちか ちか おお かわ おお かのうせい
 大雨で川から水があふれそうなときに川の近くを通ると、川に落ちてしまう可能性があるね。
 とち くら ひく ぼしよ どうろ みず つ に
 ほかに、土地がまわりに比べて低い場所では、すでに道路が水に浸かっていてうまく逃げられない
 とく きゅうげき どうろ たか ひく よ かん みず つ
 かもしれないよ。特に、急激に道路の高さが低くなる*アンダーパスと呼ばれる区間は水に浸かり
 きけん
 やすく危険だよ。
 まわ みち あんぜん みち とお ひなん じぶん いのち まも
 だから回り道になったとしても、安全な道を通して避難することが、自分の命を守ることに
 つながるんだ。

